

＜対策のポイント＞
林業の安全性、生産性及び収益性の飛躍的な向上を図るため、スマート林業技術の導入環境整備、スマート林業機械・機器等の開発・実証、地域一体で林業活動にデジタル技術をフル活用する拠点づくりを支援します。

＜事業目標＞
デジタル技術を地域一体でフル活用する取組の普及（デジタル林業戦略拠点が1つ以上ある都道府県数25〔令和12年度まで〕）

＜事業の内容＞

1. スマート林業技術導入環境整備事業

① 「森ハブ・プラットフォーム」運営支援
林業分野への新技術の導入を加速するための全国規模のプラットフォームの運営を支援します。

② スマート林業技術の安全確保のためのルール整備
スマート林業技術の安全確保のため、ガイドラインの改定内容の検討、人検知機能等の予防安全機能に関する検討等を実施します。

③ ICT活用基盤データ整備事業
デジタル技術を活用して林地台帳を効率的に更新するツールの整備等を実施します。

2. 戦略的技術開発・実証事業
伐倒・集材等の素材生産や造林作業のスマート化に向けた林業機械・機器等の開発・実証を支援します。

3. 林業DX推進対策
地域一体で、木材の生産から流通に至る林業活動にデジタル技術をフル活用する拠点づくりを支援します。

＜事業の流れ＞
委託、定額、1/2

国 → 地域コンソーシアム、民間団体等 ※国有林では直轄で実施

＜事業イメージ＞

スマート林業技術導入環境整備事業

「森ハブ・プラットフォーム」のイメージ
自治体、研究機関、林業事業者、異分野企業等、林業機械メーカー、林業支援サービス事業者

戦略的技術開発・実証事業

スマート林業機械等のイメージ
＜緩傾斜向け＞ 伐倒・集材等の素材生産分野
＜急傾斜向け＞ 植付け・下刈り等の造林分野
伐倒機械・集材機械等の林内走行性能の向上、ウインチアシスト伐倒機械の開発、架線集材機械の自動化・高出力化等、植栽機械の遠隔操作化・自動化・林内走行性能の向上、下刈り機械の自動化・林内走行性能の向上

林業DX推進対策

地域コンソーシアムのイメージ
都道府県・市町村、大学・研究機関、森林情報の提供、関係者の意見調整、出材マッチング（県森連等）、林業支援サービス事業者、機械メーカー、デジタル技術、機器・アプリ等の提供、金融機関、資金計画のアドバイス、森林組合、林業事業者、木材運送会社、製材・合板工場、実証内容・技術改良等のアドバイス